2020 年度　後期

留学生教育・支援センター

【中級Ⅰ】　シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
中級Ⅰ　会話	水１	松本	… 1
中級Ⅰ　作文	水３	酒井	… 2
中級Ⅰ　読解	月１・２	安田	… 3
中級Ⅰ　聴解	木１	小谷	… 4
中級Ⅰ　漢字	木２	渡辺	… 5
留学生教育・支援センターで開講されている日本語プログラムの各クラスのレベルについて			… 6

2020 年度　後期	曜日・校時	水曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ会話			
担当教員名	松本久美子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	教科書の会話を発展させ、トピックについて自然な会話ができるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

教科書にある会話の内容を理解したあとで、ペアやグループで会話を作り、できるだけ自然な会話ができるように練習します。ペアでの会話テストが２回あります。また、会話を作る宿題があります。

第 1 週	9/30	オリエンテーション・自己紹介
第 2 週	10/7	Part 1　Unit 1
第 3 週	10/14	Part 1　Unit 2
第 4 週	10/21	Part 1　Unit 3
第 5 週	10/28	Part 1　Unit 4
第 6 週	11/4	Part 1　Unit 5　（テストのペアを決める）
第 7 週	11/11	Part 2　Unit 6
第 8 週	11/18	テスト①
第 9 週	11/25	Part 2　Unit 7
第 10 週	12/2	Part 2　Unit 8,9
第 11 週	12/9	Part 3　Unit 10
第 12 週	12/16	Part 3　Unit 11
第 13 週	1/6	Part 3　Unit 12
第 14 週	1/13	Part 3　Unit 13
第 15 週	1/27	テスト②

教科書・教材等	『にほんご会話上手！』岩田夏穂、初鹿野阿れ著、アスク出版
成績評価の方法・基準等	テスト①　30%、テスト②　30%、授業への参加度（出席・授業態度）20%、宿題 20% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2020 年度　後期	曜日・校時	水曜日・3 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ⅰ作文			
担当教員名	酒井　亮子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	日本語の書き言葉を理解し、N3 レベルまでの文法、文型を使って、エッセイ、手紙文、説明文などを書くことができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

授業に関連した作文を書く宿題があり、翌週に提出しなければならない。

第 1 週	9/30	オリエンテーション、原稿用紙の使い方
第 2 週	10/7	自己紹介
第 3 週	10/14	私の趣味、好きなところ
第 4 週	10/21	私のふるさと
第 5 週	10/28	友達、好きな人の紹介
第 6 週	11/4	日本でびっくりしたこと
第 7 週	11/11	テスト１
第 8 週	11/18	テストのフィードバック、メール、葉書、手紙文の書き方
第 9 週	11/25	旅または外国で暮らすこと
第 10 週	12/2	専門について
第 11 週	12/9	料理の作り方
第 12 週	12/16	私の国の〇〇事情
第 13 週	1/6	日本語の書き言葉
第 14 週	1/13	都会と田舎
第 15 週	1/20	全学休講のため授業なし
第 16 週	1/27	環境問題
第 17 週	2/3	テスト２

教科書・教材等	ハンドアウト教材
成績評価の方法・基準等	宿題 20％　テスト１ 35％　テスト２ 35％ 授業への取り組み 10％　最終的なシラバスは初日に配布します。 注意 : 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係 : 乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90％となる。

2020 年度　後期	曜日・校時	月曜日・1 校時、2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	中級 I 読解			
担当教員名	安田　眞由美		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	450 字～600 字程度の長さの文章が読めるようになる。本文中の語彙や文型を理解し、自分で使えるようになる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

『中級を学ぼう　中級前期第2版』を使って授業を進めます。３～４コマで１課を終わるくらいのペースで進めていきます。毎回、課題があります。また、３課が終わるごとに理解度を確認するための課題を出します。

第 1 週	9/28	オリエンテーション／第 1 課
第 2 週	10/5	第 1 課
第 3 週	10/12	第 1 課／第 2 課
第 4 週	10/19	第 2 課
第 5 週	10/26	第 3 課
第 6 週	11/2	第 3 課
第 7 週	11/9	第 4 課
第 8 週	11/16	第 4 課
第 9 週	11/30	第 5 課
第 10 週	12/7	第 5 課
第 11 週	12/14	第 6 課
第 12 週	12/21	第 6 課／第 7 課
第 13 週	1/4	第 7 課
第 14 週	1/18	第 7 課／第 8 課
第 15 週	1/25	第 8 課
第 16 週	2/8	まとめ／期末テスト

教科書・教材等	平井悦子・三輪さち子著『中級を学ぼう　中級前期　第 2 版』スリーエーネットワーク
成績評価の方法・基準等	毎回の課題 30%、まとめの課題①（第 1 課～第 3 課）15%、まとめの課題（第 4 課～第 6 課）15%、まとめの課題③（第 7 課～第 8 課）15%、期末テスト 10%、授業への参加度 15% 注意 : 授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合は追試を認めません。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係 : 乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合は後日テストを実施しますが，その場合，点数は獲得点数の 90%となります。

2020 年度　後期	曜日・校時	木曜日・1 校時	コマ数	1 コマ
授業科目	中級Ｉ聴解			
担当教員名	小谷　裕子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	ある程度長文のナチュラルスピードの音声から必要情報を的確に拾うことができる。 研究の基礎となる語彙や表現を音声教材を通して習得し、総合的な日本語力を高める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

様様な分野の日本のニュース等を聞くことにより学習や研究の基礎となる語彙や表現を習得し、総合的な日本語力を高める。また、日本に対する理解を深める。

第 1 週	10/1	オリエンテーション　/　plus40 ㊤　（1）風呂敷
第 2 週	10/8	（2）目の錯覚　　（3）出前はどんなとき何を？
第 3 週	10/15	（4）小さなお金の大きな働き　　（5）ライオンですか、犬ですか？
第 4 週	10/22	（6）世界で一番早く朝が来る国　　（7）子どもの耳
第 5 週	10/29	（8）日本人の名字　　（9）１００円ショップ
第 6 週	11/5	（１０）便利？不便？電子メール　　（１１）じゃんけん
第 7 週	11/12	（１２）あいさつの思わぬ効果
第 8 週	11/19	中間試験　　（１３）空からの贈り物
第 9 週	11/26	（１４）チンパンジーのアイちゃん
第 10 週	12/3	（１５）だるまさんがころんだ
第 11 週	12/10	（１６）暖かい色、冷たい色
第 12 週	12/17	（１７）どんなストレスに弱い？
第 13 週	1/7	（１８）こちら１１０番、事件ですか、事故ですか？
第 14 週	1/14	（１９）「少子化」という言葉
第 15 週	1/21	（２０）動物占い　/　総まとめ
第 16 週	2/4	期末試験

教科書・教材等	「毎日の聞き取り plus40 ㊤」凡人社（主教材） 日本語能力試験Ｎ３聴解関連教材（副教材）
成績評価の方法・基準等	**授業への参加度 20%　態度 10%　小テスト 20%　中間試験 15%　期末試験 35%** 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の 90%となる。

2020年度　後期	曜日・校時	木曜日・2校時	コマ数	1コマ
授業科目	中級Ⅰ漢字			
担当教員名	渡邊　佐智子		e-mail	授業初日に通知
授業到達目標	中級レベル（日本語能力試験 N3～N2 レベル）の漢字を中心に、学習者が生活の中で必要な漢字、覚えておくと便利な漢字が“使える”ようになるための基礎力を身につける。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

・PART1からPART4では、漢字のどんなところに注目すれば新しい漢字や言葉を覚えやすくなるのかを、練習問題を通してわかるようになる。

・PART5では、実践トレーニングで、身近なものから情報を得る練習をする。

・毎回、課題（assignment）を出す。

第1週	10/1	PART0
第2週	10/8	PART1　Step1
第3週	10/15	PART1　Step2
第4週	10/22	PART2　Step1
第5週	10/29	PART2　Step1 / Step2
第6週	11/5	復習
第7週	11/12	中間試験（PART1、PART2）
第8週	11/19	PART3　Step1
第9週	11/26	PART3　Step2
第10週	12/3	PART3　Step3
第11週	12/10	PART4　Step1 / Step2
第12週	12/17	PART4　Step2
第13週	1/7	PART5　Step1
第14週	1/14	PART5　Step2
第15週	1/21	PART5　Step2、復習
第16週	2/4	期末試験（PART3～５）

教科書・教材等	『初級が終わったら始めよう　にほんご漢字トレーニング』（アスク出版）
成績評価の方法・基準等	授業への参加度（出席・授業態度）20%、課題30%、定期試験50% 注意：授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の３分の２に達しない場合は，成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では，全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため，修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては，担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006　（FAX）095-819-2948　（E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（準備学習等）	私的な理由（ex. 旅行，家族訪問 etc.）によりテストが受けられない場合はテスト日時の変更を認めない。やむを得ない理由（ex. 母校での手続き・試験 etc.，専門関係：乗船実習，研究発表 etc.）により，テストが受けられない場合はテスト日時の変更の相談に応じるが，日時の変更が認められた場合，点数は獲得点数の90%となる。

留学生教育・支援センターで開講されている
日本語プログラムでの各クラスのレベルについて

クラス名	レベル	レベルについての説明	受験可能なJLPT（日本語能力試験）のレベル	CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）のレベル
初級Ⅰ	初級前半	初歩的な文法・漢字（100 字程度）、語彙（800 語程度）を習得し、日常生活に必要な最低限度の会話ができ、平易な文、または短い文章が読み書きできる能力。日本語を 150 時間程度学習したレベル。 ・具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 ・自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 ・もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。	N5	A1 A2-1
初級Ⅱ	初級後半	基本的な文法・漢字（300 字程度）・語彙（1,500 語程度）を習得し、日常生活に役立つ会話ができ、簡単な文章が読み書きできる能力。日本語を 300 時間程度学習したレベル。 ・基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 ・自分の背景や身の回りの状況、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。	N4	A2-2
中級Ⅰ	中級前半	基本文法の応用ができ、漢字（700 字程度）・語彙（3,500 語程度）を習得し、一般的なことがら、日常的な話題について、簡単な会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 400 時間程度学習したレベル。 ・仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 ・その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 ・身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のある文を作ることができる。 ・経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。	N3	B1
中級Ⅱ	中級後半	やや高度な文法・漢字（1000 字程度）・語彙（6,000 語程度）を習得し、少し高度な一般的なことがら、日常的な話題について、会話ができ、読み書きできる能力。日本語を 600 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑な文の主要な内容を理解できる。 ・お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 ・かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細な文を作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。	N2	B2
上級Ⅰ	上級前半	高度な文法・漢字（1,500 字程度）・語彙（8,000 語程度）を習得し、大学における学習・研究の基礎として役立つことを目指す。日本語を 800 時間程度学習したレベル。 ・自分の専門分野に関する非常に専門的な資料から、情報、考え、意見を読み取ることができる。 ・論拠、論点を整然と展開して、エッセイやレポートを書くことができる。その際、重要な点や関連する補足事項の詳細を、適切に強調することができる。 ・正確に自分の考えや意見を表現できる。また、説得力をもって議論の複雑な道筋を提示し、それに反応できる。 ・記述とプレゼンテーションを明確かつ体系的に展開できる。その際、要点を失わずに、関連する詳細情報を付け加えて、内容を補足できる。		
上級Ⅱ	上級後半	高度な文法・漢字（2,000 字程度）語彙（10,000 語以上）を習得し、大学における学習・研究の基礎としても役立つような総合的に高い日本語レベル。日本語を 1000 時間以上学習したレベル。 ・いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文を理解することができ、含意を把握できる。 ・言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。 ・社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。 ・複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文を作ることができる。その際、文を構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。	N1	C1 C2

※留学生教育・支援センターでは、以下のような日本語クラスを開講しています。

初級Ⅰ （5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅰ読解 （2 単位，週 2 コマ）
初級Ⅱ （5 単位，週 5 コマ）	中級Ⅰ聴解（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅰ総合 （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ会話（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 A （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ作文（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 B （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅰ漢字（1 単位，週 1 コマ）	上級Ⅱ総合 C （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ読解（2 単位，週 2 コマ）	上級Ⅱ総合 D （2 単位，週 2 コマ）
	中級Ⅱ聴解（1 単位，週 1 コマ）	日本語能力試験 N1 対策講座（1 単位，週 1 コマ）
	中級Ⅱ会話（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ作文（1 単位，週 1 コマ）	
	中級Ⅱ漢字（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 A（1 単位，週 1 コマ）	
	中級総合 B（1 単位，週 1 コマ）	

＊週 1 コマとは，1 週間に 90 分の授業を 1 回行うことを指します。

（本ページのみ：2015/07/30 作成，2018/01/26 更新）